

静岡県 の 財政状況

平成23年10月

静 岡 県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

[説明資料関連ページ]

<“ふじのくに”の概況>	静岡県の人⼝・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)–(6)
	富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(16)
<静岡県の財政状況>	平成22年度一般会計 歳入決算の状況	4	(22)
	平成23年度一般会計 歳入予算の状況	5	(22)
	一般会計 歳入決算の推移	6	(22)
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(23)
	平成22年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(24)
	平成22年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	(24)
	平成23年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(24)
	平成23年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	(24)
	一般会計 歳出決算の推移	12	(24)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成22年度 特別会計決算の状況	14	
	平成22年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(25)
	平成22年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(25)
	地方公社の改革計画への取組	17	(26)
	地方公社の決算状況	18	(26)
	静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況	19–21	(27)
	財政の中期見通しと健全化への取組	22–31	(28)
	財政関係指標の推移(普通会計)	32–34	(28)
	平成21年度 静岡県の財務諸表	35–39	
	県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	40	(29)
<静岡県の起債運営>	財政5基金の年度末残高の推移	41	
	減債基金への積立ての状況	42	(32)
	プライマリーバランスの推移	43	
	静岡県公募公債の発行状況	44	(33)

静岡県人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
静岡県人口数(A)	3,767	3,781	3,786	3,793	3,795	3,792	3,797	3,801	3,800	3,792	3,765
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	126,926	127,291	127,435	127,619	127,687	127,768	127,770	127,771	127,692	127,510	128,056
本県シェア(A/B)	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.97	2.98	2.97	2.94

※各年度10月1日現在の推計人口(総務省統計局データ)による

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
県内総生産(百万円)	16,160,047	15,968,796	16,793,467	15,983,278	16,360,571	16,282,612	16,357,013	16,887,191	17,171,325	17,044,294	16,452,651
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
一人当たり県民所得(千円)	3,263	3,213	3,395	3,215	3,261	3,224	3,247	3,336	3,392	3,420	3,215
全国順位	5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3

※各年度の数値は「県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
静岡県製造品出荷額	159,122	166,108	161,863	161,851	159,638	166,998	173,227	182,347	194,103	191,777	150,510
全国順位	5	5	5	3	3	3	3	3	3	3	2
全国製造品出荷額	2,914,496	3,004,776	2,866,674	2,693,618	2,737,344	2,839,670	2,958,003	3,146,194	3,367,566	3,355,788	2,652,590
本県シェア	5.5	5.5	5.6	6.0	5.8	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7	5.7

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
県勢基本	静岡県人口数(千人)	3,797	3,801	3,800	3,792	3,765
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率(人) (千人当たり)	1.39	1.44	1.44	1.43	1.48
	全国順位	19	14	15	15	14
経済産業	県内総生産(億円)	170,620	169,275	164,527	—	—
	全国順位	10	10	10	—	—
	製造品出荷額等(億円)	182,347	194,103	191,777	150,510	—
	全国順位	3	3	3	2	—
	実質経済成長率(%)	3.2	0.6	-1.8	—	—
	全国数値(%)	2.3	1.9	-4.1	—	—
	医薬品生産額(億円)	6,308	6,096	5,600	—	—
	全国順位	1	2	2	—	—
	医療用機械器具、同装置 出荷額(億円)	958	1,083	1,249	1,418	—
	全国順位	2	1	1	1	—
	農業産出額(億円)	2,443	2,308	2,281	2,086	—
	全国順位	13	13	13	16	—
	海面漁業・養殖業生産額 (億円)	581	665	637	558	—
	全国順位	6	6	6	6	—
	ホテル・旅館数	4,199	4,107	4,028	3,681	—
	全国順位	1	1	1	1	—
	企業立地件数	102	124	144	44	—
	全国順位	3	1	1	5	—
	有効求人倍率	1.24	1.20	0.87	0.40	0.52
	全国数値	1.06	1.02	0.77	0.45	0.56

区分	項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
経済産業	完全失業率(%)	2.8	2.6	3.0	4.2	—
	全国数値	4.1	3.9	4.0	5.1	—
教育	大学・短大学生数(人)	40,652	39,693	39,079	38,412	38,371
	全国順位	14	15	15	15	15
	大学・短大等進学率(%)	50.7	52.1	52.6	54.3	54
	全国順位	16	16	18	16	19
くらし・環境	図書館数	89	91	90	92	92
	全国順位	—	—	—	—	—
健康福祉	持ち家率(%)	—	—	—	—	69.3
	全国順位	—	—	—	—	27
	住宅延面積(m ²) (1世帯当たり)	—	—	—	—	—
	全国順位	—	—	—	—	—
行政	エコアクション21認証登録 事業者数(件)	—	284	438	606	760
	全国順位	—	1	1	1	2
健康福祉	子育て支援拠点 公立中学校数に対する設置割合(%)	—	92.0	—	—	—
	全国順位	—	1	—	—	—
	国民医療費(千円) (1人当たり)	—	—	244	—	—
	全国順位(昇順)	—	—	5	—	—
	1日平均在院・外来患者数(人) (10万人当たり)	1,901	1,747	1,687	1,649	—
	全国順位(昇順)	4	3	3	3	—
行政	生活保護率(%)	4.4	4.5	4.7	5.7	—
	全国順位(昇順)	8	8	8	9	—
行政	市町村への事務移譲実施数	114	115	115	120	—
	全国順位	1	1	1	1	—

平成22年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	札幌線	121,414	84,140	69.3	
		FDA	34,528	75.6	
		ANA	86,886	66.8	
	小松線	FDA	57,296	33.8	
	松本線	FDA	22,788	47.5	
	福岡線	FDA	149,572	53.8	
	熊本線	FDA	55,780	42.4	
	鹿児島線	FDA	57,836	48.7	
	沖縄線	ANA	87,126	75.7	
		チャーター便	4,784	3,502	73.2
	国内線計	556,596	316,082	56.8	
国際線	ソウル線	263,652	191,787	72.7	
		アジアナ	130,192	95,633	73.5
		大韓	133,460	96,154	72.0
	上海線	東方航空	49,888	26,186	52.5
		チャーター便	27,520	21,404	77.8
		国際線計	341,060	239,377	70.2
合計		897,656	555,459	61.9	

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く。

※チャーター便の集計には、マンダリン航空分は含まず。

平成22年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成22年度 決算	平成21年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成22年度	平成21年度
歳 入 決 算 額	1,168,527	1,214,551	△ 46,024	△ 3.8	100.0	100.0
県税	401,697	417,802	△ 16,105	△ 3.9	34.4	34.4
地方消費税清算金	76,527	76,653	△ 126	△ 0.2	6.5	6.3
地方譲与税	46,242	22,572	23,670	104.9	4.0	1.9
地方特例交付金	4,415	5,791	△ 1,376	△ 23.8	0.4	0.5
地方交付税	168,277	148,379	19,898	13.4	14.4	12.2
交通安全対策特別交付金	1,314	1,357	△ 43	△ 3.2	0.1	0.1
分担金及び負担金	7,396	5,981	1,415	23.7	0.6	0.5
使用料及び手数料	10,348	17,580	△ 7,232	△ 41.1	0.9	1.4
国庫支出金	149,325	201,996	△ 52,671	△ 26.1	12.8	16.6
財産収入	2,804	3,952	△ 1,148	△ 29.0	0.2	0.3
寄附金	1,613	284	1,329	468.0	0.1	0.0
繰入金	40,800	36,076	4,724	13.1	3.5	3.0
繰越金	10,533	9,487	1,046	11.0	0.9	0.8
諸収入	27,532	32,660	△ 5,128	△ 15.7	2.4	2.7
県債	219,704	233,981	△ 14,277	△ 6.1	18.8	19.3

平成23年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度 当初予算	平成22年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成23年度	平成22年度	
歳 出 規 模	1,132,400	1,126,500	5,900	0.5	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	395,000	370,000	25,000	6.8	34.9	32.9
	地方消費税清算金	77,429	71,858	5,571	7.8	6.8	6.4
	地方譲与税	47,500	42,200	5,300	12.6	4.2	3.8
	地方特例交付金	4,027	4,896	△ 869	△ 17.7	0.3	0.4
	地方交付税	156,300	155,500	800	0.5	13.8	13.8
	臨時財政対策債	120,000	151,000	△ 31,000	△ 20.5	10.6	13.4
	その他	39,197	35,488	3,709	10.5	3.5	3.1
	計	839,453	830,942	8,511	1.0	74.1	73.8
特 定 財 源	国庫支出金	118,932	124,074	△ 5,142	△ 4.1	10.5	11.0
	県債	64,138	64,340	△ 202	△ 0.3	5.7	5.7
	繰入金	75,745	68,005	7,740	11.4	6.7	6.0
	その他	34,132	39,139	△ 5,007	△ 12.8	3.0	3.5
	計	292,947	295,558	△ 2,611	△ 0.9	25.9	26.2

一般会計 歳入決算の推移

(単位: 億円・%)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
県税	5,060	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,950
構成比	38.5	32.8	32.0	35.0	33.9	34.1	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.9
地方交付税	1,270	1,311	1,970	2,141	2,070	2,050	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,563
構成比	9.7	9.1	14.0	15.6	15.0	16.7	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	13.8
国庫支出金	2,136	2,429	2,333	2,225	2,311	2,061	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,190
構成比	16.2	16.8	16.6	16.2	16.8	16.8	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	10.5
県債	2,192	2,793	2,209	1,804	2,102	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,841
通常債	2,192	2,793	2,209	1,804	1,930	1,524	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	616
特例債	—	—	—	—	172	417	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,200
病院債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	22	25
構成比	16.7	19.3	15.7	13.2	15.2	15.9	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	16.3
その他	2,493	3,182	3,057	2,740	2,637	2,008	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,780
構成比	18.9	22.0	21.7	20.0	19.1	16.5	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	24.5
計	13,151	14,448	14,061	13,714	13,796	12,236	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,324

※平成23年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
個人県民税	890	722	746	722	715	699	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,345
構成比	17.6	15.2	16.6	15.0	15.3	16.7	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	34.1
法人二税	2,095	1,655	1,485	1,617	1,541	1,343	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	885
構成比	41.4	35.0	33.1	33.7	33.0	32.2	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.4
その他	2,075	2,356	2,261	2,465	2,420	2,134	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,720
構成比	41.0	49.8	50.3	51.3	51.7	51.1	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.5
計	5,060	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,950

(参考)

地方法人 特別譲与税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	431	445
合計	5,060	4,733	4,492	4,804	4,676	4,176	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,395	

※平成23年度は当初予算

平成22年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成22年度 決算	平成21年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成22年度	平成21年度
歳 出 決 算 額		1,154,082	1,204,018	△ 49,936	△ 4.1	100.0	100.0
義 務 的 経 費	人件費	372,878	376,461	△ 3,583	△ 1.0	32.3	31.3
	扶助費	77,403	72,413	4,990	6.9	6.7	6.0
	公債費	169,684	167,755	1,929	1.1	14.7	13.9
	災害復旧費	2,680	1,086	1,594	146.8	0.2	0.1
	計	622,645	617,715	4,930	0.8	53.9	51.3
義 務 的 経 費 以 外	投資的経費	173,356	192,090	△ 18,734	△ 9.8	15.1	16.0
	公共・直轄	91,976	89,234	2,742	3.1	8.0	7.4
	単 独	81,380	102,856	△ 21,476	△ 20.9	7.1	8.6
	その他の経費	358,081	394,213	△ 36,132	△ 9.2	31.0	32.7
	計	531,437	586,303	△ 54,866	△ 9.4	46.1	48.7

平成22年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成22年度 決算	平成21年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成22年度	平成21年度
議会費	1,905	1,971	△ 66	△ 3.3	0.2	0.2
経営管理費	57,580	—	57,580	皆 増	5.0	—
企画広報費	16,760	—	16,760	皆 増	1.5	—
くらし・環境費	7,278	—	7,278	皆 増	0.6	—
文化・観光費	8,406	—	8,406	皆 増	0.7	—
健康福祉費	190,298	—	190,298	皆 増	16.5	—
経済産業費	50,966	—	50,966	皆 増	4.4	—
交通基盤費	150,640	—	150,640	皆 増	13.1	—
危機管理費	4,614	—	4,614	皆 増	0.4	—
警察費	78,723	81,054	△ 2,331	△ 2.9	6.8	6.7
教育費	304,079	306,275	△ 2,196	△ 0.7	26.3	25.4
災害対策費	2,876	1,245	1,631	131.0	0.2	0.1
公債費	169,683	167,755	1,928	1.1	14.7	13.9
諸支出金	110,274	131,682	△ 21,408	△ 16.3	9.6	10.9
総務費	—	49,575	△ 49,575	皆 減	—	4.1
企画費	—	19,314	△ 19,314	皆 減	—	1.6
県民費	—	13,863	△ 13,863	皆 減	—	1.2
厚生費	—	209,536	△ 209,536	皆 減	—	17.4
産業費	—	57,082	△ 57,082	皆 減	—	4.8
建設費	—	164,666	△ 164,666	皆 減	—	13.7
計	1,154,082	1,204,018	△ 49,936	△ 4.1	100.0	100.0

平成23年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成23年度 当初予算	平成22年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
						平成23年度	平成22年度
歳 出 総 額		1,132,400	1,126,500	5,900	0.5	100.0	100.0
義務的経費	人件費	373,700	380,500	△ 6,800	△ 1.8	33.0	33.8
	扶助費	81,435	75,283	6,152	8.2	7.2	6.7
	公債費	173,028	172,969	59	0.0	15.3	15.4
	災害復旧費	9,000	8,670	330	3.8	0.8	0.8
	計	637,163	637,422	△ 259	0.0	56.3	56.7
税収関連法定経費		113,509	109,743	3,766	3.4	10.0	9.7
義務的経費・ 法定経費・ 税収関連	投資的経費	165,674	170,812	△ 5,138	△ 3.0	14.6	15.1
	うち 公共・直轄	85,994	91,660	△ 5,666	△ 6.2	7.6	8.1
	うち 単独	74,687	74,616	71	0.1	6.6	6.6
	その他の経費	216,054	208,523	7,531	3.6	19.1	18.5
	計	381,728	379,335	2,393	0.6	33.7	33.6

平成23年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成23年度 当初予算	平成22度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成23年度	平成22年度
議会費	2,149	2,053	96	4.7	0.2	0.2
経営管理費	32,534	36,214	△ 3,680	△ 10.2	2.9	3.2
企画広報費	5,832	7,411	△ 1,579	△ 21.3	0.5	0.7
くらし・環境費	8,647	7,989	658	8.2	0.7	0.7
文化・観光費	7,817	8,009	△ 192	△ 2.4	0.7	0.7
健康福祉費	201,952	185,041	16,911	9.1	17.8	16.4
経済産業費	48,445	47,390	1,055	2.2	4.3	4.2
交通基盤費	139,488	145,125	△ 5,637	△ 3.9	12.3	12.9
危機管理費	4,336	4,511	△ 175	△ 3.9	0.4	0.4
警察費	76,842	80,247	△ 3,405	△ 4.2	6.8	7.1
教育費	307,670	307,824	△ 154	△ 0.1	27.2	27.3
災害対策費	9,116	8,558	558	6.5	0.8	0.8
公債費	173,028	172,969	59	0.0	15.3	15.4
諸支出金	114,244	112,859	1,385	1.2	10.1	10.0
予備費	300	300	0	0.0	0.0	0.0
計	1,132,400	1,126,500	5,900	0.5	100.0	100.0

一般会計 歳出決算の推移

(単位: 億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
義務的経費	5,839	6,010	6,193	6,492	6,558	6,420	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,226	6,371
構成比	44.9	42.0	44.4	47.9	48.1	53.0	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	53.9	56.3
人件費	4,076	4,078	4,100	4,045	4,099	4,042	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,728	3,737
構成比	31.4	28.5	29.4	29.9	30.1	33.4	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	33.0
扶助費	391	412	439	546	591	609	537	568	564	626	659	686	724	774	814
構成比	3.0	2.9	3.2	4.0	4.3	5.0	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.2
公債費	1,304	1,393	1,551	1,846	1,792	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,730
構成比	10.0	9.7	11.1	13.6	13.1	13.9	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.3
災害復旧費	68	127	103	55	76	85	91	90	83	37	37	34	10	27	90
構成比	0.5	0.9	0.7	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.8
投資的経費	4,461	4,883	4,350	3,873	3,694	3,146	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,607
構成比	34.4	34.1	31.2	28.6	27.1	26.0	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.2
公共・直轄	1,894	2,294	2,185	1,994	1,909	1,748	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	860
構成比	14.6	16.0	15.7	14.7	14.0	14.5	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	7.6
単独	2,567	2,589	2,165	1,879	1,785	1,398	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	747
構成比	19.8	18.1	15.5	13.9	13.1	11.5	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.6
その他	2,686	3,413	3,381	3,176	3,376	2,543	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,581	3,346
構成比	20.7	23.9	24.4	23.5	24.8	21.0	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	29.5
計	12,986	14,306	13,924	13,541	13,628	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,324
形式収支 (歳入 - 歳出)	166	143	137	174	168	127	163	119	114	121	104	95	106	144	
実質収支	40	41	41	49	58	53	60	62	57	59	61	57	57	58	

※平成23年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
義務的経費	5,860	6,069	6,181	6,527	6,594	6,446	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,371
構成比	45.3	41.4	44.1	48.2	48.3	53.5	53.7	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	56.3
人件費	4,085	4,103	4,121	4,063	4,115	4,060	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,737
構成比	31.6	28.0	29.4	30.0	30.1	33.7	33.5	33.6	34.8	34.8	34.7	33.9	30.7	32.3	33.0
扶助費	399	415	445	556	596	613	541	573	570	637	664	689	730	776	814
構成比	3.1	2.8	3.2	4.1	4.4	5.1	4.6	4.9	5.0	5.7	5.8	6.0	5.9	6.7	7.2
公債費	1,304	1,393	1,551	1,846	1,792	1,692	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,730
構成比	10.1	9.5	11.1	13.6	13.1	14.0	14.8	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	15.3
災害復旧費	72	158	64	62	91	81	88	113	64	15	56	15	17	38	90
構成比	0.5	1.1	0.4	0.5	0.7	0.7	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8
税関関連法定経費	536	1,218	1,138	1,251	1,244	994	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135
構成比	4.1	8.3	8.1	9.2	9.1	8.2	8.9	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	10.0
投資的経費	4,323	5,055	4,398	3,769	3,646	3,008	2,682	2,535	2,273	2,207	2,098	2,045	2,036	1,684	1,607
構成比	33.4	34.5	31.4	27.8	26.6	25.0	23.0	21.8	20.2	19.5	18.4	17.9	16.5	14.5	14.2
公共・直轄	1,837	2,469	2,215	1,964	1,867	1,684	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	860
構成比	14.2	16.9	15.8	14.5	13.6	14.0	12.2	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	7.6
単独	2,486	2,586	2,183	1,805	1,779	1,324	1,263	1,199	1,076	1,085	1,106	1,138	1,049	701	747
構成比	19.2	17.6	15.6	13.3	13.0	11.0	10.8	10.3	9.6	9.6	9.7	10.0	8.5	6.0	6.6
その他	2,212	2,302	2,300	1,981	2,188	1,598	1,684	1,601	1,652	1,751	1,781	2,017	2,915	2,531	2,211
構成比	17.2	15.8	16.4	14.8	16.0	13.3	14.4	13.8	14.7	15.5	15.6	17.6	23.7	21.8	19.5
計	12,931	14,644	14,017	13,528	13,672	12,046	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,324

※平成23年度は当初予算

平成22年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区 分	会計の概要	歳入	歳出	差引	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	348,690	348,690	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	8,203	8,203	0	—
市町振興助成事業	市町に対する公共施設の整備に必要な資金の貸付	5,315	5,313	2	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	360	108	252	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
母子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金の貸付	641	613	28	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	666	664	2	年金受給者数が見込を下回ったことによる。
中小企業振興資金	中小企業経営の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	5,486	3,231	2,255	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
農業改良資金	農業経営の改良を図るための技術導入資金などの貸付	512	415	97	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	186	29	157	資金の借入需要が見込を下回ったことによる。
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	7,144	7,140	4	清水港港湾管理費等における執行残及び翌年度繰越による。
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	14,025	13,773	252	西遠、天竜川左岸等の流域下水道における翌年度繰越による。
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	12,100	11,505	595	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による。
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,546	1,546	0	—
計		404,874	401,230	3,644	

平成22年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	事業概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中樞を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	25,298	24,682	616	10,906
工業用水道事業	県下10市町の379事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	5,510	4,978	532	5,952
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,067	5,395	672	4,148
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	3,028	2,862	166	4,370
計		39,903	37,917	1,986	25,376

平成22年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区 分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	企業債	支出	企業債償還金	
静岡がんセンター事業	病院本棟改修、器械備品購入ほか	2,074	1,790	3,907	2,037	△ 1,833
工業用水道事業	工業用水の供給を確保するため、県下7工業用水道で必要な施設整備を実施(東駿河湾、中遠、富士川等)	1,645	385	3,279	1,275	△ 1,634
水道事業	県下3広域水道で必要な施設整備を実施(遠州水道、駿豆水道、榛南水道)	1,083	361	4,695	2,161	△ 3,612
地域振興整備事業	オーダーメイド方式による工業用地の造成(湖西・西笠子工業団地、牧之原中里工業団地、浜松都田工業用地)	4,815	0	4,446	0	369
計		9,617	2,536	16,327	5,473	△ 6,710

地方公社の改革計画への取組

団体名	集中改革プラン(平成18年3月策定)		行財政改革大綱 (平成23年3月策定)	
	概要	成果		
静岡県地域整備センター	静岡県土地 開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 県と公社の役割の明確化 ◎ 事業規模に見合った組織体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で職員数を平成17年度から21年度で10人削減 ◎ 職員常駐支所を4箇所から1箇所とするなど、事業規模に見合った組織体制の見直し ◎ 長期借入金から短期借入金への事業資金調達方法の変更や入札条件の詳細な設定などによる金利負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 公共事業の減少や地価の下落などの環境変化を踏まえて公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施
	静岡県道路 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った組織体制 ◎ 業務の効率的執行 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で職員数を平成17年度から21年度で27人削減 ◎ 直営で行っていた料金徴収業務を全て入札による民間委託として実施 ◎ 土木施設に応じた最適な維持管理を行い施設の長寿命化を図るため、独自の維持管理補修計画を策定し、計画的な施設管理を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 経営安定化を図るため、有料道路の利用台数を確保するための対策を実施 ◎ 有効活用を含め公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施
	静岡県住宅 供給公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 業務の効率的執行 ◎ 経営改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 正規職員数を17年度から22年度で9人削減 ◎ 県営住宅管理受託について、平成18年度から管理代行者として受託 ◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善方策を検討 H22 経営改善、特優賃対策、住宅管理事務検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 借上賃貸住宅の入居率向上対策など、実効性のある経営改善対策を実施 ◎ 事業規模に見合った効率的な組織体制を整備 ◎ 借上賃貸住宅管理事業終了(平成29年度)後の公社の在り方を検討するとともに、毎年度経営状況等に関する点検評価を実施

地方公社の決算状況

(単位:百万円)

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	平成21年度	平成22年度	
出資状況	出資団体数	1	1	16	16	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	1,897	1,897	5	5
		計	20	20	9,420	9,420	15	15
貸借対照表	資産	流動資産	11,137	10,584	3,645	3,891	1,721	3,350
		固定資産	2,056	2,074	35,183	35,170	18,076	12,841
		小計	13,193	12,658	38,828	39,061	19,797	16,191
	負債	流動負債	969	333	208	195	2,540	2,567
		固定負債	10,053	10,118	6,192	5,155	16,911	13,148
		特別法上の引当金等	-	-	16,393	17,610	-	-
		小計	11,022	10,451	22,793	22,960	19,451	15,715
	資本	資本金	20	20	9,420	9,420	15	15
		剰余金	-	-	6,615	6,681	-	-
		法定準備金等	2,151	2,187	-	-	331	461
		小計	2,171	2,207	16,035	16,101	346	476
	計	13,193	12,658	38,828	39,061	19,797	16,191	
	損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	3,420	4,011	2,273	2,098	3,372
営業費用 (b)			3,462	4,037	2,652	2,565	3,271	3,367
営業利益 (c=a-b)			△ 42	△ 26	△ 379	△ 467	101	162
営業外収益 (d)			56	45	511	601	11	10
営業外費用 (e)			5	0	83	67	97	116
経常利益 (f=c+d-e)			9	19	49	67	15	56
特別利益 (g)		8	0	-	-	70	78	
特別損失 (h)		-	-	-	-	54	4	
当期損益 (i=f+g-h)		17	19	49	67	31	130	

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

平成23年3月末現在

(単位: %、百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合が50%以上				出資割合が25%以上50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成22年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成22年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(財)しずおか産業創造機構	7,257 (100.0)	△ 32.4	8,514	(社)静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	2.5	2,064
		(財)静岡県労働福祉事業協会	2,193 (100.0)	△ 71.0	2,193	(財)静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	△ 28.6	3,371
		(財)静岡県舞台芸術センター	1,700 (100.0)	△ 26.8	1,753	(社)静岡県畜産協会	245 (31.6)	274.6	960
		(財)静岡総合研究機構	1,050 (95.4)	△ 3.8	1,203	(財)静岡県腎臓バンク	150 (48.7)	1.4	329
		(財)浜松地域テクノポリス推進機構	1,023 (56.7)	3.4	2,298	(社)静岡県緑化推進協会	50 (49.1)	3.9	113
		(財)静岡県文化財団	900 (87.5)	△ 25.7	1,215	(財)静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.4)	0.2	110
		(財)静岡県国際交流協会	797 (86.9)	5.7	894	(社)静岡県果実生産出荷安定基金協会	26 (25.0)	1.8	197
		(財)世界緑茶協会	393 (100.0)	△ 1.1	394	(財)静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	△ 1.2	152
		(財)しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	△ 1.7	373	(財)静岡県産業ビル	1 (33.3)	14.2	339
		(財)静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	0.8	107				
		(社)静岡県農業振興公社	50 (50.0)	△ 17.3	408				
		(財)静岡県下水道公社	8 (50.0)	△ 3.8	21				
		公安委員会	(財)静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	16.6	876			
	教育委員会	(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所	10 (100.0)	67.5	96	(財)静岡県青少年会館	100 (40.0)	△ 0.5	251
地方公社		静岡県道路公社	7,523 (79.9)	66.7	16,101				
		静岡県土地開発公社	20 (100.0)	18.7	2,207				
		静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	55.7	476				
会社法法人					天竜浜名湖鉄道(株)	250 (39.7)	△ 193.1	148	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	10.7	148	

<参考>

地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	109.0	20,176
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	103.0	16,533
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	1,846.7	8,480

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成22年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業概要	H22経常収支	赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団法人	(財)しずおか産業創造機構	・中小企業の経営革新及び創業の促進、経営基盤強化、科学技術の研究開発の推進	△ 32,387	設備貸与事業の貸与額の減少に伴う収益の低下等による。	人件費等固定経費の圧縮による支出削減及び国補助金等外部資金の取り込みによる収入増加など収支バランスの維持に努めた結果、平成22年度は収支の改善が図られた。引き続き、厳しい経営状況の中で県の中核的な産業支援機関としての機能の維持・強化を図っていくため、収支両面での改善を図っていく。
	(財)静岡県労働福祉事業協会	・勤労者福祉施設の管理運営	△ 71,033	「おおとり荘」において、東日本大震災による計画停電等の影響により宿泊者数が伸びなかったことによる。	「おおとり荘」については、建物の減価償却費を計上しており、収支はマイナスとなっているが、経営に必要な資金は確保し、自立した経営を行っている。毎年、経営改善計画を策定し、宿泊者数の増加に取り組んでおり、引き続き積極的な誘客を図り、収支改善に努めることとしている。
	(財)静岡県舞台芸術センター	・舞台芸術作品の創造・公演 ・舞台芸術普及・人材育成、舞台芸術活動支援 ・文化施設(舞台芸術公園)の管理	△ 26,827	人材育成事業費の増等による。	効率のよい事業推進に努めるとともに、自主財源の一層の確保(国等助成金の確保、入場料収入増、会費収入増等)により、経営体質の強化を図る。
	(財)静岡総合研究機構	・地域社会、産業経済に関する調査研究等	△ 3,800	調査研究受託収入の減等による。	本財団は、平成23年度末をもって解散する予定であり、財団の持つ今後必要な機能や継承方法等については、平成23年度中に検討し、方針を決定する。
	(財)静岡県文化財団	・文化情報の提供及び文化意識の啓発 ・地域文化の振興及び文化鑑賞機会の提供 ・文化ホール(グランシップ)の管理	△ 25,691	国等助成金収入の減による。	貸館事業収益の増加や国等助成金の確保及び管理運営事業費の節減等を図り、収支改善に努める。
	(財)世界緑茶協会	・静岡の茶文化の提案及び普及 ・世界の緑茶の中心地としての地位の創造	△ 1,113	3年に1度の世界お茶まつり開催年につき事業支出が増加したため。	人件費削減により経費削減を図るとともに、基本財産の運用改善により収支は改善する見通しである。
	(財)しずおか健康長寿財団	・県民総参加による高齢者の生きがいづくり及び健康づくりの推進 ・静岡県総合健康センターの管理及び運営 ・静岡県介護・実習普及センターの運営の受託	△ 1,722	県と財団の役割分担の見直しに伴う人件費負担の増による。	事業の見直しにより、人件費の削減を図る予定であり、今後収支は改善する見込である。

静岡県が出資(出資割合25%以上)する法人の経営状況

○平成22年度経常収支赤字法人

(単位:千円)

形態	出資法人	事業概要	H22経常収支	赤字の理由	今後収支改善の見通し
財団・ 社団 法人	(社) 静岡県農業振興公社	<ul style="list-style-type: none"> 農地保有合理化事業 青年農業者等育成事業 	△ 17,291	長期保有地の売却差損による赤字	平成22年度末にて長期保有地の売却を終えたため、今後、赤字幅は縮小する見込である。
	(財) 静岡県下水道公社	<ul style="list-style-type: none"> 下水道知識の普及啓発 下水道技術者を対象とした研修の開催 下水道技術の調査研究 下水道の維持管理業務の受託 	△ 3,782	利率低下に伴う受取利息収入の減による。	自主事業を受取利息収入のみにより賅っているが、収入の減少に伴う自主事業の急激な縮小を避けるため、剰余金を利用している。今後も、低利率が長期に続くようであれば、収入に見合った事業規模に縮小して健全な経営状況を維持していく。
	(財) 静岡県漁業振興基金	<ul style="list-style-type: none"> 漁業振興及び栽培漁業推進 	△ 28,564	基本財産運用益の減収による。	経費削減、事業の縮小等により、収支改善を図る。
	(財) 静岡県生活衛生営業指導センター	<ul style="list-style-type: none"> 生活衛生関係営業者に対する指導 	△ 1,186	手数料収入の減による。	標準営業約款の登録促進に努め収益の増を図るとともに、経費の削減に努める。
	(財) 静岡県青少年会館	<ul style="list-style-type: none"> 青少年会館の管理運営 青少年団体の育成推進 青少年の健全育成 	△ 465	事務所入居団体が退去したことによる貸付料収入の減少。	新規入居団体の誘致を図り、収入の増に努める。
会社 法人	天竜浜名湖鉄道(株)	<ul style="list-style-type: none"> 地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営 	△ 193,134	輸送人員の減による。	新経営計画(21年度~25年度)に基づき、営業力の強化により増収対策を図るとともに、業務内容の見直しや無駄の削減等により経費削減に努め、経営改善を進めているところである。

財政の中期見通しと健全化への取組

1 財政の中期見通し

平成23年度当初予算策定時

(1) 試算の前提

- ① 経済成長率は、内閣府試算(平成23年1月「経済財政の中長期試算」)に用いられた2パターン
の経済成長率(慎重シナリオ、成長戦略シナリオ)のうち、より慎重な経済見通しを前提とする。

(名目経済成長率)

(単位:%)

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度
慎重シナリオ	1.3	1.3	1.5	1.3

- ② 地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、一般財源総額を23年度同額で固定するパターンを「ケース1」、また、義務的経費等の財政需要の増加が地方交付税に反映する本来の地方財政制度の機能が発揮されるパターンを「ケース2」として試算
- ③ 今後、新たな総合計画に基づいて施策展開していくことを踏まえ、総合計画の「主な取組」について試算に反映

財政の中期見通しと健全化への取組

(2) 試算結果

平成23年度当初予算策定時

- 実質公債費比率、将来負担比率については、財政健全化法における健全段階を維持
- 県独自の健全化目標のうち、
 - ・ 県債残高は、今後、いずれのケースも着実に減少し、目標の範囲内で推移
 - ・ 経常収支比率は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では改善する見込であるが、ケース1(一般財源総額据置)では、義務的経費の増加に伴い、更なる上昇はまぬがれない状況
- 財源不足額は、ケース2(地方財政制度機能発揮)では、中期的に解消の方向に向かうが、ケース1(一般財源総額据置)では、今後も400億円程度で推移

<参考：県独自の健全化の目標>

区分	指標(21決算)	全国順位	国基準
① 経常収支比率を90%以下へ	93.3%	9	—
② 実質公債費比率を18%未満に抑制	13.1%	16	18.0%
③ 県債残高2兆円程度を上限	19,610億円	—	—
④ 将来負担比率を400%未満に抑制	262.6%	32	400.0%

財政の中期見通しと健全化への取組

平成23年度当初予算策定時

＜試算結果＞

(単位: 億円)

区分	項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
一般財源総額 据置パターン	経常収支比率	95.1%	95.3%	96.1%	96.4%	97.1%
	実質公債費比率	15.2%	15.0%	14.8%	14.3%	14.7%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	18,704	18,184	17,660	17,162	16,567
	県債残高(全体) <small>注2</small>	25,369	25,825	26,189	26,472	26,566
	将来負担比率	263.3%	268.3%	275.5%	281.3%	284.4%
	財源不足額	△ 347	△ 406	△ 397	△ 392	△ 397
地方財政制度 機能発揮パターン	経常収支比率	95.1%	94.4%	94.0%	93.5%	93.6%
	実質公債費比率	15.2%	14.9%	14.6%	13.9%	14.2%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	18,704	18,184	17,660	17,162	16,567
	県債残高(全体) <small>注2</small>	25,369	25,825	26,189	26,472	26,566
	将来負担比率	263.3%	265.4%	268.6%	271.3%	272.4%
	財源不足額	△ 347	△ 340	△ 245	△ 175	△ 137

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
- 2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期見通しと健全化への取組

2 健全化への取組

平成23年度当初予算策定時

(1) 新しい行財政改革大綱に基づく財政健全化への積極的な取組

○ 県債残高の抑制

(単位：億円)

区分	22年度末	23年度末	備考
通常債残高	19,264	18,704	H22末比：△560

○ 静岡型事業仕分けの実施

- ・ 21年度：103事業、22年度：110事業の仕分けを実施
- ・ 22年度は「静岡型事業仕分け」として、県の業務をすべて書き出し、目的ごとに整理した「業務棚卸表」を活用し、県の裁量の余地が大きい事業全般の見直しを実施

(単位：百万円)

区分	22年度当初	23年度当初	備考
仕分けによる見直し額	3,072	3,966	H23は「静岡型事業仕分け」による効果額を含む

○ 予算節減努力評価制度

- ・ 「予算を使い切ろうとする意識を改革」するため、予算の執行段階での創意工夫により、歳入の確保や歳出の節減に努めた優れた取組を表彰

(単位：百万円)

区分	21年度	22年度	備考
経費節減額	395	209	応募件数：H21 23件、H22 27件

財政の中期見通しと健全化への取組

平成23年度当初予算策定時

○ 団体負担金の見直し

- ・ 法的根拠のない全国規模の公的団体等に対する負担金や100万円以上の比較的規模の大きい団体負担金の見直しを実施

○ 外郭団体の検証と見直し

- ・ 解散 2団体

(2) 基金活用可能額の積み増し

- ・ 将来に備え、基金活用可能額は、19年度と同水準を確保(250億円)

翌年度以降の基金活用可能額の確保

(単位:億円)

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
当初予算活用可能額 A	632	702	609	686	554	557	579	503	575	433	597
当初予算活用額 (財源不足額) B	482	531	489	569	499	341	328	336	527	386	347
当初予算編成後 C=A-B	150	171	120	117	55	216	251	167	48	47	250
前年度決算後 D	230	231	155	155	137	250	296	183	78	92	—
翌年度活用可能額 E	698	602	674	543	546	554	480	570	433	597	—

(注) 当初予算活用可能額Aは、前年度の翌年度活用可能額Eに利子等を加算

3 課題と今後の対応

(1) 課題

- 23年度当初予算は、多額の財源不足が見込まれる下での編成となったが、将来に備えて基金活用可能額の積み増しや「ふじのくにづくり推進基金」の新設など、“ふじのくに”の自立を支える財政基盤の確立に向けて、第一歩を踏み出すことができた。
- その一方で、試算結果のとおり、地方財政制度が着実に機能する場合(ケース2)には、財源不足額は縮小していくが、国の中期財政フレーム等により地方の一般財源総額が据え置かれる前提(ケース1)では、社会保障関係費や公債費等の義務的経費の増加に伴い財源不足額も拡大していくことから、県内総生産や県民所得を向上させる取組(県自らの取組)とその努力による税收等の増加が行政サービスの向上に反映できる仕組みの確立(国への提言)が不可欠である。

(2) 今後の対応

①“ふじのくに”づくりと財政健全化の両立(県自らの取組)

○ 新たな総合計画に基づく“ふじのくに”づくりの推進

堅実な経済成長をもたらすため、

- (1) ヒト、モノ、大地を活かした農林水産業の強化、今後の経済成長を担う次世代産業の育成
- (2) 国内外から憧れを呼ぶ地域づくりによるヒト、モノの多様な交流と深化
- (3) 活発な経済活動や交流を支える陸・海・空の交通ネットワークの確立 ほか

○ 静岡県行財政改革大綱(22~25年度)に基づく徹底的な行財政改革

効果的で能率的な行政運営や将来にわたる安心な財政運営を維持するため、

- (1) 歳出のスリム化
県民参加型の行政評価手法の導入、職員数の見直し、内部管理経費等の徹底した見直し、サンセット方式による補助金の見直し ほか
- (2) 歳入の確保
県税の安定的な確保、未収金徴収対策の一層の強化、未利用財産の売却促進 ほか

②国への提言

○ 地域主権改革の着実な実行

- ・ 真の地域自立を実現するための地域主権改革の実現、地方の意見の反映

○ 将来にわたって安心な財政運営の確立

- ・ 行政サービスの安定的提供のための一般財源総額の確保
- ・ 行政サービスと負担の不均衡の解消に向けた地方消費税等の税財源の充実

「財政の中期見通し」の前提条件

- 経済成長率：内閣府試算（平成23年1月「経済財政の中長期試算」）で用いられた経済成長率を使用
 ⇒ 慎重シナリオ H24：1.3%、H25：1.3%、H26：1.5%、H27：1.3%

○ 推計方法

区 分		考 え 方
歳 出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率3.0%（H19～21決算平均伸び率） 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算（1.6～2.1%）
	災害復旧費	23年度当初と同額
	税収関連法定経費	原則として税収の伸びに連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ
	単独	単独（通常分） → 22年度当初と同額 単独（主要事業） → 積上げ
	その他の経費	原則として23年度当初と同額 選挙経費は実施年度の推計額
	（再掲） 総合計画の反映	基本計画に示した4年間（H22～25）の具体的な取組のうち、主な取組を試算に反映
歳 入	県税	名目経済成長率×弾性値（1.1）+税制改正影響分（～23年度税制改正分）
	地方消費税清算金	地方消費税に連動
	地方譲与税	名目経済成長率×弾性値（1.1）
	地方特例交付金	23年度当初と同額
	地方交付税 + 臨時財政対策債	ケース1：23年度当初同額±税増減収分 ※一般財源総額を同額で固定し、税収増減等の25%相当分は算定から除外 ケース2：ケース1+義務的経費の増分を反映
	国庫支出金	原則として歳出に連動
	県債	原則として歳出に連動
その他の歳入	原則として、23年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動	

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し <ケース1>一般財源総額据置パターン

平成23年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 24年度 1.3% 25年度 1.3% 26年度 1.5% 27年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区分	22年度	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		
	当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額	
歳	義務的経費	6,375	6,371	△4	6,415	44	6,483	68	6,486	3	6,585	99
	人件費	3,805	3,737	△68	3,754	17	3,739	△15	3,691	△48	3,698	7
	うち退職手当	340	323	△17	359	36	375	16	360	△15	393	33
	扶助費	753	814	61	836	22	859	23	883	24	907	24
	公債費	1,730	1,730	0	1,735	5	1,795	60	1,822	27	1,890	68
	うち通常債分	1,538	1,484	△54	1,471	△13	1,475	4	1,427	△48	1,421	△6
	うち臨時財政対策債分	157	207	50	233	26	290	57	365	75	429	64
	災害復旧費	87	90	3	90	0	90	0	90	0	90	0
	税関関連法定経費	1,097	1,135	38	1,199	64	1,216	17	1,244	28	1,261	17
	義務的経費・税関関連経費以外	3,793	3,818	25	3,526	△292	3,513	△13	3,378	△135	3,235	△143
出	投資的経費	1,663	1,606	△57	1,631	25	1,604	△27	1,526	△78	1,371	△155
	公共・直轄	917	860	△57	827	△33	847	20	854	7	852	△2
	単独	746	746	0	804	58	757	△47	672	△85	519	△153
	その他の経費	2,130	2,212	82	1,895	△317	1,909	14	1,852	△57	1,864	12
	合計 A	11,265	11,324	59	11,140	△184	11,212	72	11,108	△104	11,081	△27
(再掲)※ 総合計画の「主な取組」		1,190	1,300		1,090		1,080					
入	県税	3,700	3,950	250	4,127	177	4,214	87	4,294	80	4,355	61
	うち法人事業税	488	699	211	723	24	738	15	749	11	760	11
	地方消費税清算金	719	774	55	786	12	797	11	810	13	822	12
	地方譲与税	422	475	53	504	29	511	7	519	8	526	7
	うち地方法人特別譲与税	393	446	53	475	29	481	6	489	8	495	6
	地方交付税	3,065	2,763	△302	2,667	△96	2,619	△48	2,570	△49	2,527	△43
	うち臨時財政対策債	1,510	1,200	△310	1,107	△93	1,059	△48	1,010	△49	967	△43
	地方特例交付金	49	40	△9	40	0	40	0	40	0	40	0
	国庫支出金	1,241	1,190	△51	1,222	32	1,280	58	1,263	△17	1,251	△12
	県債	643	641	△2	671	30	714	43	665	△49	572	△93
その他の歳入	1,040	1,144	104	717	△427	640	△77	555	△85	591	36	
合計 B	10,879	10,977	98	10,734	△243	10,815	81	10,716	△99	10,684	△32	

※ 新たな総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政の中期見通しと健全化への取組

財政の中期見通し <ケース2> 地方財政制度機能発揮パターン

平成23年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 24年度 1.3% 25年度 1.3% 26年度 1.5% 27年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区分	22年度	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		
	当初		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額		前年度 増減額	
歳	義務的経費	6,375	6,371	△4	6,415	44	6,483	68	6,486	3	6,585	99
	人件費	3,805	3,737	△68	3,754	17	3,739	△15	3,691	△48	3,698	7
	うち退職手当	340	323	△17	359	36	375	16	360	△15	393	33
	扶助費	753	814	61	836	22	859	23	883	24	907	24
	公債費	1,730	1,730	0	1,735	5	1,795	60	1,822	27	1,890	68
	うち通常債分	1,538	1,484	△54	1,471	△13	1,475	4	1,427	△48	1,421	△6
	うち臨時財政対策債分	157	207	50	233	26	290	57	365	75	429	64
	災害復旧費	87	90	3	90	0	90	0	90	0	90	0
	税収関連法定経費	1,097	1,135	38	1,199	64	1,216	17	1,244	28	1,261	17
	義務的経費・税収関連経費以外	3,793	3,818	25	3,526	△292	3,513	△13	3,378	△135	3,235	△143
出	投資的経費	1,663	1,606	△57	1,631	25	1,604	△27	1,526	△78	1,371	△155
	公共・直轄	917	860	△57	827	△33	847	20	854	7	852	△2
	単独	746	746	0	804	58	757	△47	672	△85	519	△153
	その他の経費	2,130	2,212	82	1,895	△317	1,909	14	1,852	△57	1,864	12
	合計 A	11,265	11,324	59	11,140	△184	11,212	72	11,108	△104	11,081	△27
	(再掲)※ 総合計画の「主な取組」	1,190	1,300		1,090		1,080					
歳入	県税	3,700	3,950	250	4,127	177	4,214	87	4,294	80	4,355	61
	うち法人事業税	488	699	211	723	24	738	15	749	11	760	11
	地方消費税清算金	719	774	55	786	12	797	11	810	13	822	12
	地方譲与税	422	475	53	504	29	511	7	519	8	526	7
	うち地方法人特別譲与税	393	446	53	475	29	481	6	489	8	495	6
	地方交付税	3,065	2,763	△302	2,733	△30	2,771	38	2,787	16	2,787	0
	うち臨時財政対策債	1,510	1,200	△310	1,107	△93	1,059	△48	1,010	△49	967	△43
	地方特例交付金	49	40	△9	40	0	40	0	40	0	40	0
	国庫支出金	1,241	1,190	△51	1,222	32	1,280	58	1,263	△17	1,251	△12
	県債	643	641	△2	671	30	714	43	665	△49	572	△93
その他の歳入	1,040	1,144	104	717	△427	640	△77	555	△85	591	36	
合計 B	10,879	10,977	98	10,800	△177	10,967	167	10,933	△34	10,944	11	

※ 新たな総合計画基本計画に示した4年間の具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
財政力 指数	本県	76.3	72.3	67.7	63.3	62.8	62.4	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5
	全国	48.3	46.1	42.9	40.5	40.6	40.8	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	
	順位	5	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	
経常収支 比率	本県	96.4	92.2	89.0	90.4	93.2	87.3	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7
	全国	90.5	87.7	86.6	88.9	91.5	89.1	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	
	順位	39	38	34	31	31	15	21	10	4	5	7	9	
実公債 費率	本県	-	-	-	-	-	-	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3
	全国	-	-	-	-	-	-	-	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	
	順位	-	-	-	-	-	-	-	14	10	9	10	16	
将来負担 率	本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	235.1	234.8	235.6	
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	28	32	

(参考)

起債制限 率	本県	11.1	12.2	13.1	13.4	13.2	12.8	12.6	-	-	-	-	-	-
	全国	11.1	11.7	12.2	12.6	12.6	12.5	12.6	-	-	-	-	-	-
	順位	23	26	30	29	28	27	22	-	-	-	-	-	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした

※指数及び比率の全国の数値は、単純平均の数値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【起債制限比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債元利償還金に充当された一般財源の標準財政規模等(注3)に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注3) 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税を加算した額である標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えた額

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注5)を対象とした実質赤字額(注6)の標準財政規模に対する割合

(注5) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注6) 実質赤字の額 = 繰上充用額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注4)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注4) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区 分		平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
自主財源比率	本県	51.4	53.4	56.4	63.0	59.7	47.6	47.4
	全国	48.5	50.9	52.9	58.8	56.8	49.1	
	順位	7	9	8	8	9	12	
地方税比率	本県	41.2	44.0	46.8	53.3	50.7	37.8	37.8
	全国	33.3	35.2	37.9	43.1	41.7	32.4	
	順位	5	5	5	6	5	6	
法人税比率	本県	14.2	16.4	18.4	19.4	17.7	7.5	7.8
	全国	10.2	11.6	13.4	14.1	13.0	6.6	
	順位	5	5	5	5	5	7	

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+地方消費税精算金+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成21年度 静岡県の財務諸表

平成21年度財務諸表から、総務省が平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究報告書」における「基準モデル」に従って、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成しています。

	総務省方式改訂モデル (H19・20決算)	基準モデル (H21決算～)
固定資産の 算定方法 (初年度期首残高)	○売却可能資産： 売却可能価格	○現存する固定資産をすべてリストアップし、公正価値により評価
固定資産の 算定方法 (継続作成時)	○売却可能資産以外： 過去の建設事業費の積み上げにより算定 ⇒段階的に固定資産情報を整備	○発生主義的な財務会計データから固定資産情報を作成
固定資産の 範囲	○当初は建設事業費の範囲 ⇒段階的に拡張し、立木、物品、地上権、ソフトウェアなどを含める	○すべての固定資産を網羅
台帳整備	○段階的整備を想定 ⇒売却可能資産、土地を優先	○開始貸借対照表作成時に整備、その後継続的に更新
財務諸表の 検証可能性	○台帳の段階的整備等により、検証可能性を高めることは可能	○開始時未分析残高を除き、財務諸表の数値から元帳、伝票に遡って検証可能

基準モデル移行への対応

- すべての固定資産をリストアップ
 - ・ 地上権、ソフトウェア等を追加
 - ・ 国道や河川等の国有財産を除外

- 所有する全資産について、公正価値評価に基づく価額により計上

- 個々の取引情報を発生主義により複式記帳して財務諸表を作成

平成21年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

貸借対照表

（単位：億円）

借 方		貸 方	
【資産の部】		【負債の部】	
1 金融資産	6,157	1 流動負債	1,295
(1) 資金	195	(1) 賞与引当金	212
(2) 債権	1,027	(2) 預り金	57
税等未収金	194	(3) 翌年度償還予定地方債	1,009
未収金	10	(4) その他の流動負債	17
貸付金	858	2 非流動負債	29,468
貸倒引当金	△35	(1) 地方債	25,406
(3) 投資等	4,935	(2) 退職給付引当金	3,889
出資金	1,146	(3) 損失補償等引当金	15
基金	3,789	(4) その他の非流動負債	158
2 非金融資産	35,347		
(1) 事業用資産	13,083	負債合計	30,763
有形固定資産	13,067		
無形固定資産	16	【純資産の部】	
(2) インフラ資産	22,264	財源	△844
公共用財産用地	7,927	資産形成充当財源	1,470
公共用財産施設	14,332	その他の純資産	10,115
その他	5		
		純資産合計	10,741
資産合計	41,504	負債・純資産合計	41,504

◆ 期末・勤勉手当に係る引当金を計上

◆ 地方債残高は、翌年度償還予定地方債と翌々年度以降償還予定地方債に分けて計上

◆ 退職手当に係る引当金を計上

◆ 県税や使用料などの未収金を計上

◆ 事業用資産には、将来の資金流入をもたらすものとして、庁舎、県立高等学校、県営住宅などの資産を計上

◆ インフラ資産には、将来の行政サービス提供能力を有するものとして、県道や橋りょう、空港などの資産を計上

【貸借対照表】

資産合計…どのくらい資産を保有しているかを示します。
 負債合計…将来世代の負担を示します。
 純資産合計…過去から現在の世代の負担を示します。

平成21年度 静岡県の財務諸表（普通会計財務諸表）

行政コスト計算書

（単位：億円）

◆人にかかるコスト、物にかかるコスト、県債の支払利息などを計上

◆行政サービスの受益者が負担する使用料や手数料等を計上

区 分	金 額	構成比	区 分	金 額	費用比
1 経常業務費用	5,591	63.3%	業務収益（使用料等）	356	4.0%
①人件費	3,764	42.6%	業務関連収益（受取利息等）	222	2.5%
職員給料	2,557	28.9%			
退職給付費用等	1,207	13.7%			
②物件費	378	4.3%	経常収益 B	578	6.5%
消耗品費・維持補修費等	137	1.6%			
減価償却費	241	2.7%			
③経費	314	3.6%			
委託費	177	2.0%			
貸倒引当金繰入等	137	1.6%			
④業務関連費用	1,136	12.8%			
公債費（利払分）	419	4.7%			
その他	717	8.1%			
2 移転支出	3,248	36.7%			
①他会計等への支出等	27	0.3%			
②補助金等移転支出	3,089	34.9%			
③社会保障関係費等移転支出	131	1.5%			
経常費用 A	8,839	100%	純経常費用 A-B	8,261	

◆補助金や社会保障関係経費などの移転的な支出を計上

【行政コスト計算書】

経常費用…資産形成につながらない経常的な行政コストを示します。

経常収益…受益者負担を示します。

純経常費用…地方税や地方交付税といった一般財源などで賄わなければならないコストを示します。

平成21年度 静岡県 の財務諸表（普通会計財務諸表）

純資産変動計算書

(単位：億円)

区 分	金額
前期末残高	11,236
I 財源変動の部	△844
1 財源の用途	△11,685
2 財源の調達	10,841
II 資産形成充当財源変動の部	1,471
1 固定資産の変動	1,430
2 長期金融資産の変動	125
3 評価・換算差額等の変動	△84
III その他の純資産の変動の部	△1,122
1 開始時未分析残高	△743
2 その他純資産の変動	△379
当期変動額合計	△495
当期末残高	10,741

◆純経常費用等への財源の充当

◆県税、地方交付税等の収入

資金収支計算書

(単位：億円)

区 分	金額
I 経常的収支	1,180
1 経常的支出	8,220
2 経常的収入	9,400
II 資本的収支	△1,668
1 資本的支出	2,928
2 資本的収入	1,260
III 財務的収支	539
1 財務的支出	3,480
2 財務的収入	4,019
当期資金収支額	51
期首資金残高	144
期末資金残高	195

◆固定資産の形成等に係る収支

◆県債の発行、償還等に係る収支

◆人件費、物件費等の支出

◆県税、地方交付税等の収入

【純資産変動計算書】

純資産の期中の増減がどのような要因で変化したのかを示します。1年間で今までの世代が負担してきた部分が増えたのか減ったのかがわかることになります。

【資金収支計算書】

4表の中で唯一現金主義により作成されるもので、現金の流れを3つの区分により示します。資金をどのような性質の活動で獲得しているのかがわかります。

平成21年度 静岡県 の財務諸表（連結財務諸表）

静岡県の連結財務諸表は、公営企業会計・公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成しています。

貸借対照表

（単位：億円）

資産の部	金額	負債の部	金額
1 金融資産	6,537	1 流動負債	1,677
(1) 資金	839	(1) 未払金及び未払費用	130
(2) 債権	1,150	(2) 前受金及び前受収益	58
税等未収金	194	(3) 賞与引当金	225
未収金	308	(4) 翌年度償還予定地方債	1,132
貸付金・その他	704	(5) その他	132
貸倒引当金	△56	2 非流動負債	32,274
(3) 有価証券	285	(1) 地方債	27,366
(4) 投資等	4,263	(2) 借入金	329
出資金	177	(3) 退職給付引当金	4,061
基金	3,789	(4) その他の引当金	127
その他	297	(5) その他	391
2 非金融資産	42,534		
(1) 事業用資産	15,650	負債合計	33,951
有形固定資産	15,411	純資産の部	金額
無形固定資産・棚卸資産	239		
(2) インフラ資産	26,884	純資産合計	15,120
公共用財産用地	8,397		
公共用財産施設	17,804		
その他	683		
資産合計	49,071	負債及び純資産合計	49,071

行政コスト計算書

（単位：億円）

金額	金額
1 経常業務費用	6,770
① 人件費	4,142
職員給料	2,796
賞与引当金繰入	225
退職給付費用	353
その他	768
② 物件費	874
消耗品費	153
維持補修費	88
減価償却費	361
その他	272
③ 経費	553
業務費	39
委託費	353
貸倒引当金繰入	2
その他	159
④ 業務関連費用	1,201
公債費（利払分）	464
借入金支払利息・その他	737
2 移転支出	3,024
経常費用 A	9,794
業務収益	1,105
業務関連収益	273
経常収益 B	1,378
純経常費用 A - B	8,416

純資産変動計算書

（単位：億円）

金額	金額
前期末残高	16,060
I 財源変動の部	△1,075
II 資産形成充当財源の部	1,457
III その他の純資産の変動の部	△1,322
当期末残高	15,120

資金収支計算書

（単位：億円）

金額	金額
1 経常的収支	1,565
2 資本的収支	△1,691
3 財務的収支	392
当期資金収支	266
期首資金残高	573
期末資金残高	839

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
一般会計(A)	14,963	16,959	18,225	18,790	19,692	20,519	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,362
通常債	14,963	16,959	18,225	18,790	19,521	19,930	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,101	18,698
特別債	0	0	0	0	171	589	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,584	6,664
特別会計(B)	1,237	1,296	1,336	1,337	1,302	1,286	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,095
県営住宅事業	0	0	0	0	0	0	0	299	281	262	247	242	220	213	201
母子寡婦福祉資金	16	12	13	14	15	17	19	19	20	21	21	22	23	25	28
就農支援資金	15	11	8	5	4	3	2	4	4	6	5	6	8	9	10
中小企業振興資金	611	617	622	601	555	498	407	357	307	254	309	287	274	260	241
清水港等港湾整備事業	220	259	281	293	304	350	368	364	361	347	294	289	262	260	259
流域下水道事業	357	380	396	409	409	409	403	395	392	385	376	371	361	357	356
林業改善	3	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	15	14	14	13	13	9	9	8	8	7	7	7	5	0	0
企業会計(C)	1,004	954	941	1,024	1,286	1,378	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	796
県立病院事業	171	176	205	198	192	234	243	247	256	327	347	379	0	0	0
がんセンター事業	0	0	0	119	404	516	519	508	519	487	452	443	469	466	459
工業用水道事業	159	171	176	183	189	186	182	178	172	165	157	149	141	133	125
水道事業	278	272	273	276	272	263	256	256	254	256	246	247	241	223	212
地域振興整備事業	396	335	287	248	229	179	142	89	16	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	17,204	19,209	20,502	21,151	22,280	23,183	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,253

※県債残高の平成22年度以前は決算ベース、平成23年度は当初予算額

※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債

※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置

※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上。

※就農支援資金は、平成22年度までは農業改良資金

2.県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
本県	416.3	466.9	502.0	515.7	538.0	557.8	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	644.3
全国平均	457.2	499.2	534.1	550.7	566.5	588.6	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	—
順位	15	16	16	14	14	14	15	15	15	15	15	16	—

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政5基金の年度末残高の推移

(単位: 億円)

区 分	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
財政調整基金	4	4	4	84	84	128	125	116	106	32	88	88	89	20
県債管理基金	1,451	1,318	1,382	1,588	1,643	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,006
うち一般会計分	1,192	921	664	645	522	545	491	454	462	421	454	331	520	245
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
土地開発基金	118	120	121	123	124	126	87	78	70	61	57	57	57	37
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	1,595	1,464	1,529	1,817	1,873	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,085
うち一般会計分	1,336	1,067	811	874	752	821	725	670	660	536	621	498	688	324

※残高の平成22年度以前は決算ベース、平成23年度は見込額

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、

各基金より大規模地震災害対策基金に繰入ることが可能であることが条例において規定

減債基金への積立ての状況

積立ルール

県債発行額の3.7%(27分の1)を3年据え置き後、
毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
満期一括分残高(実償還ベース)	12,495	14,309	15,846	17,470	19,110	20,198	21,709	23,603	24,253
公募公債	7,580	8,980	10,380	11,860	13,124	14,374	16,937	18,474	19,883
銀行等引受債	4,915	5,329	5,466	5,610	5,986	5,824	4,772	5,129	4,370
積立残高	1,226	1,442	1,641	1,832	2,109	2,155	2,080	2,372	2,754

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
歳入 A	12,237	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685
県債	1,941	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197
通常分 B	1,626	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,531	679
臨時財政対策債	315	737	526	403	364	329	400	809	1,518
財源不足額 C	149	16	125	87	45	158	4	156	30
差引 D(A-B-C)	10,462	10,715	10,397	10,294	10,407	10,174	9,994	10,459	10,976
歳出 E	12,109	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541
公債費 F	1,684	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697
差引 G(E-F)	10,425	9,966	9,818	9,561	9,642	9,736	9,732	10,362	9,844
プライマリーバランス H(D-G)	37	749	579	733	765	438	262	97	1,132

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政5基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

区分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
個別発行	5年債				200	200	200	200	600	400	400	300	800	500	400	
	10年債	750	680	750	680	500	700	600	800	1,000	900	800	900	1,300	1,100	700
	20年債								200	300	200	400	300	200	300	
	30年債										200	200	200	200	200	
	合計	750	680	750	680	700	900	800	1,000	1,800	1,600	1,600	1,800	2,600	2,000	1,600
共同発行							400	600	600	600	600	600	600	800	600	
その他															100	
総計	750	680	750	680	700	900	1,200	1,600	2,400	2,200	2,200	2,400	3,200	2,800	2,300	

※平成23年度は予定額

2.最近の発行条件

	償還年限	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り 格差	基準国債金利		
平成22年度	4月	5年	100億円	0.618%	100円	0.618%	6.5bp	0.553%	
		10年	200億円	1.455%	100円	1.455%	6.0bp	1.395%	
	5月	5年	100億円	0.518%	100円	0.518%	5.5bp	0.463%	
		10年	100億円	1.379%	100円	1.379%	6.0bp	1.319%	
	6月	10年	200億円	1.315%	100円	1.315%	3.0bp	1.285%	
		20年	100億円	2.072%	100円	2.072%	6.0bp	2.012%	
	7月	5年	100億円	0.391%	100円	0.391%	4.5bp	0.346%	
		10年	100億円	1.178%	100円	1.178%	4.0bp	1.138%	
	8月	10年	200億円	1.059%	100円	1.059%	5.0bp	1.009%	
		10月	5年	100億円	0.290%	100円	0.290%	6.0bp	0.230%
			10年	200億円	0.946%	100円	0.946%	6.0bp	0.886%
	11月	20年	100億円	1.841%	100円	1.841%	11.0bp	1.731%	
5年		100億円	0.432%	100円	0.432%	8.0bp	0.352%		
10年		100億円	1.008%	100円	1.008%	8.5bp	0.923%		
3月	30年	200億円	2.198%	100円	2.198%	19.0bp	2.008%		
	5年	100億円	0.592%	100円	0.592%	4.5bp	0.547%		
平成23年度	4月	10年	100億円	1.316%	100円	1.316%	3.5bp	1.281%	
		5年	100億円	0.621%	100円	0.621%	10.0bp	0.521%	
	5月	10年	100億円	1.385%	100円	1.385%	10.0bp	1.285%	
		10年	100億円	1.193%	100円	1.193%	7.0bp	1.123%	
	6月	5年	100億円	0.478%	100円	0.478%	4.0bp	0.438%	
		10年	100億円	1.158%	100円	1.158%	3.5bp	1.123%	
		20年	100億円	2.003%	100円	2.003%	9.0bp	1.913%	
	7月	10年	100億円	1.201%	100円	1.201%	3.5bp	1.166%	
	8月	5年	100億円	0.390%	100円	0.390%	4.0bp	0.350%	
	10月	10年	100億円	1.025%	100円	1.025%	3.5bp	0.990%	

3.過去の超長期債の発行条件

(1)20年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り 格差	基準国債金利
平成17年度	200億円	2.18%	99.96円	2.182%	10.0bp	2.082%
平成18年度	100億円	2.36%	99.96円	2.362%	15.0bp	2.212%
平成18年度	200億円	2.35%	99.93円	2.355%	18.0bp	2.174%
平成19年度	100億円	2.29%	99.89円	2.298%	12.0bp	2.177%
平成19年度	100億円	2.29%	99.98円	2.291%	13.0bp	2.161%
平成20年度	200億円	2.35%	100.00円	2.350%	11.0bp	2.240%
平成20年度	200億円	2.32%	99.95円	2.323%	18.0bp	2.143%
平成21年度	200億円	2.243%	100.00円	2.243%	10.0bp	2.143%
平成21年度	100億円	2.227%	100.00円	2.227%	8.0bp	2.147%
平成22年度	100億円	2.072%	100.00円	2.072%	6.0bp	2.012%
平成22年度	100億円	1.841%	100.00円	1.841%	11.0bp	1.731%
平成23年度	100億円	2.003%	100.00円	2.003%	9.0bp	1.913%
平成23年度	200億円	1.777%	100.00円	1.777%	7.0bp	1.707%

(2)30年債

	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り 格差	基準国債金利
平成19年度	200億円	2.63%	100.00円	2.630%	20.0bp	2.430%
平成20年度	200億円	2.54%	99.97円	2.541%	27.0bp	2.271%
平成21年度	200億円	2.381%	100.00円	2.381%	14.0bp	2.241%
平成22年度	200億円	2.198%	100.00円	2.198%	19.0bp	2.008%

お問い合わせ：静岡県 経営管理部 財政課

メールアドレス：zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

T E L : 054-221-2036

静岡県IRサイト：<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>

F A X : 054-221-2750